

オアシス通信



3 兄妹が奉仕



十一月八日はKBIデー。今年には三年生の野上姉、一年生の林兄と福野兄の三名の神学生が来られ、奉仕をしてくださいました。

前夜はユースナイトがあり、二名の兄弟がご奉仕されました。聖日礼拝では、兄弟の証に続き、三人での賛美がありました。その後、KBIの紹介DVDを見ました。そして野上姉のメッセージと続きました。メッセージでは、祈りに必要な三つの要素と題して

前進するKBI

カインとアベルの礼拝

いつも美濃市の働きやKBIでの学びと私の家族のためにお祈り下さってありがとうございます。皆さんの祈りによって守られて3年生まで祝福のうちに勉強することが出来ました。

来年3月に卒業するために私は「カインとアベルの礼拝」というテーマで卒業論文を準備しています。宣教師として伝道や宣教に関するテーマしようかとも思いましたが、私たちの第一目的は神の栄光を現し、神を礼拝する者でなければならないと思いました。それで私たちは形式的な礼拝者ではなく、主に正しい礼拝を捧げる者であるべきだということを創世記4章のカインとアベルを通して研究したかったのです。私もいつまでもアベルのように神様が目を留められる礼拝者でありたいと思います。KBIでの残りの学びと卒業論文が祝福されるようにつづけてお祈り下さい。(辛海雄)

卒論に奮闘中

聖書的な家庭のあり方

KBI卒業にあたり、現在、論文に取り組んでいるところです。

テーマは「聖書的な家庭のありかた」です。一番私たちが、この世にあって生きるのにほっとする場所であるのは家庭ではないでしょうか。しかし、実際には、家庭の中で大きな問題を抱えていることが多いように思います。なぜ、そのようなことが起こっているのか。また、その問題に聖書は何といわれているのか。

神様は家庭を祝福されています。その神様の御心を知るなら、すべての人が神様の思いにあった家庭を築くことができます。この論文が、主に導かれ、家庭における分野において視野が広がり、主の働きに用いられるようお祈りくだされば幸いです。

(大道由美)

話されました。使徒の働きの12章1節からパウロの牢獄脱出劇。あきらめない祈りの大切さと、神様のすばらしい御業を素直に受け入れることの大切さが分かりました。また、ヤコブは殺された、とありますが、祈りは聞かれなかったのでしょうか。そうではなくすべてを支配しておられる神様はすべてを益としてくださる、という御言葉に立つことが重要であると教えられました。

これからの日本の宣教、世界の宣教のためにKBIの発展は欠かせません。四十名の学生の学びが祝されますように、教師、理事、スタッフの奉仕の充実のためにKBIへの志願者が増えますように経済面で満たされますように

うに。これらの四つの課題をこれからも引き続き祈っていきましょう。(加藤 哲)

伝道に最適な季節

いよいよクリスマスがやって来ましたが、皆様のご家庭では、今年のクリスマスをごのようにお祝いされますか。ぜひ良き家庭の伝統を作り、家族や友人たちとクリスマスをお祝いしましょう。

当教会では、あらゆる年齢層に応じたたくさんの方々のクリスマス集会を予定しています。日本でも一番伝道しやすい季節ですので、勇気を出して家族、友人、知人を誘ってあげましょう。良き種まきと収穫の時となることを期待してお祈りしましょう。(牧師)

